

平成28年度

公益財団法人鹿児島市国際交流財団

事業の計画に関する書類

公益財団法人鹿児島市国際交流財団

目 次

平成28年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針	-----	1
II 事業計画	-----	1

平成28年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書

I 収支予算書	-----	5
II 収支予算内訳書	-----	7

平成 28 年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針

訪日外国人観光客数 2 千万人の時代を迎え、ますます国内外の交流が活発化する今日、本市でも多くの外国人観光客や在住外国人の方々を街角や観光地で見かけます。国際都市鹿児島市の今後の発展に向けて、市民と外国人が共存する、より住みやすい多文化共生の地域づくりが求められます。

当財団は、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、市民の国際相互理解を深め国際協力意識の高揚を図るとともに、地域の多文化共生を推進し、国際都市鹿児島市の発展に寄与することを目的に、平成 26 年 4 月 1 日に設立されましたが、さまざまな事業やイベントを実施するなかで、財団の認知度も確実に高まってきております。

平成 28 年度におきましても、この目的の実現に向けて引き続き、4 つの柱である「①国際交流の推進」、「②国際理解の推進」、「③国際協力の推進」、「④多文化共生の地域づくりの推進」に係る各種事業に、賛助会員をはじめ多くの市民や在住外国人、関係団体の方々と連携を深めながら、一致協力して積極的に取り組んでまいります。

II 事業計画

1 国際交流の推進

(1) 市民と在住外国人との交流促進事業

○新入在住外国人の歓迎交流会

新入在住外国人を歓迎するとともに、市民との交流を図る場を提供することを目的として、交流会を開催する。(4 月 24 日開催予定)

○市民と在住外国人との 1 日ツアー

市民と在住外国人と一緒に鹿児島県内の史跡や観光施設等を巡りながら、鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施する。(5 月開催予定)

○在住外国人ホームビジット

在住外国人が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうと同時に、受入家庭には外国出身者との交流を深めてもらうことを目的として、宿泊を伴わない短時間のホームステイを実施する。

(2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

○かごしまアジア青少年芸術祭

青少年の国際性を育み、市民の国際交流意識の高揚を図ることを目的として、アジア各国・地域と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める芸術の祭典を開催する。(10 月 15～16 日開催予定)

○姉妹友好都市等からの来訪者の受入対応

姉妹友好都市等からの来訪者の受入れに当たり、滞在中の交流の充実を図ることを目的として、市と連携してホームステイの斡旋や随行案内等を実施する。

(3) 国際交流人材の育成事業

○ボランティア登録者勉強会

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図ることを目的として、各種勉強会を開催する。

○国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題などについての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会を開催する。

2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

○異文化体験講座

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目的として、在住外国人等を講師に招き外国語を介した体験型講座を開催する。

○国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー（CIR）等による企画イベントを開催する。なお、本年度は日本在住の外国人落語家を講師に英語落語のワークショップを開催する。（7月3日開催予定、鹿児島外語学院との共催）

○異文化紹介イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、鹿児島大学留学生会による異文化紹介イベント等と連携したイベントを開催する。

○絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語（英語、韓国語、中国語等）による読み聞かせを実施する。

(2) 外国人の国際理解促進事業

○日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本の文化や実際に生活する鹿児島の文化への理解を深めてもらうことを目的として、体験型イベントを開催する。

○通訳ボランティア派遣

市の事業や各種イベント等に対応できる通訳ボランティアを養成して、支援や派遣の要請に応じて派遣する。

○食べ歩きマップ作成（市補助事業）

「食」をテーマにした外国人観光客のまち歩き環境の向上を図ることを目的として、多言語（英語、韓国語、中国語（繁体字・簡体字））で表記した地図を作成（更新）する。

(3) 広報・情報発信事業

○多言語情報誌の発行（市共催）

外国人の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザー（CIR）の企画・編集により、時宜を得た旬の情報を提供する情報誌を多言語表記（英語、韓国語、中国語）で発行する。

○ホームページの多言語化情報の提供

当財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、ホームページを作成し、多言語表記（英語、韓国語、中国語）で発信する。

○各種イベントへの協力・広報活動

当財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、他団体が実施するイベントへの協力及び展示物の出展などによる広報活動を実施する。

○広報誌（K I E Xなび）の発行

財団事業に関する情報等をより効果的に発信することを目的として、広報誌（K I E Xなび）を発行する。

3 国際協力の推進

(1) 国際協力活動事業

○国際協力講演会

国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催する。

○青年海外協力隊員報告会

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、青年海外協力隊経験者を招き報告会を開催する。

○国際協力体験イベント

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、国際協力機構（J I C A）等と連携し体験型講座を開催する。

4 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化共生地域づくり推進事業

○在住外国人のための生活情報勉強会

鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催する。

○在住外国人のための防災意識啓発活動（市と共催）

鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識を啓発することを目的として、消防関係機関等と連携し、訓練や体験型講座等を実施する。

○子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、様々な国籍の子どもが一緒に楽しめる交流会を開催する。

(2) 在住外国人支援事業

○在住外国人のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、マンツーマン方式により日本語習得の支援を実施する。

○日本語指導ボランティア養成

日本語習得を支援することを目的として、日本語支援ボランティアを養成する講座を実施する。

○外国人等相談対応

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減や市民からの国際交流に対する要望等を活かすことを目的として、各種相談に対応する。

○災害時通訳ボランティアの登録・研修

災害時における在住外国人の避難行動を支援することを目的として、通訳ボランティアの登録及び研修を実施する。

○多言語交流会

在住外国人同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる言語別の交流会を開催する。

○テーマ別交流会

共通の悩みを持つ在住外国人同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、テーマ別の交流会を開催する。

平成28年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書

I 収支予算書 (正味財産増減計算書ベース)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,092	1,012	80
賛助会員受取会費	1,092	1,012	80
事業収益	450	450	0
事業収益	450	450	0
受取補助金等	35,450	35,434	16
受取地方公共団体負担金	34,910	34,894	16
受取地方公共団体補助金	540	540	0
受取寄付金	0	437	△ 437
受取寄付金	0	437	△ 437
雑収益	3	1	2
受取利息	3	1	2
経常収益計	36,995	37,334	△ 339
(2) 経常費用			0
事業費	30,313	30,289	24
役員等報酬	1,272	1,273	△ 1
給料手当	18,826	17,926	900
退職給付費用	425	412	13
福利厚生費	3,347	3,182	165
旅費交通費	153	131	22
通信運搬費	615	789	△ 174
消耗品費	962	1,194	△ 232
印刷製本費	1,184	1,162	22
光熱水料費	315	378	△ 63
使用料・賃借料	1,257	1,964	△ 707
保険料	91	122	△ 31
手数料	77	5	72
報償費	940	991	△ 51
負担金・補助金	110	110	0
委託料	739	650	89
管理費	7,096	7,045	51
役員等報酬	2,229	2,229	0
給料手当	1,580	1,490	90
福利厚生費	461	442	19
会議費	15	29	△ 14
旅費交通費	67	67	0
通信運搬費	316	361	△ 45
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	277	324	△ 47
修繕費	20	30	△ 10
印刷製本費	630	735	△ 105
光熱水料費	35	42	△ 7
使用料・賃借料	1,249	1,213	36
租税公課	71	21	50
手数料	116	32	84
負担金・補助金	30	30	0
経常費用計	37,409	37,334	75
評価損益等調整前当期経常増減額			0
評価損益等計			0
当期経常増減額	△ 414	0	△ 414
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

当期一般正味財産増減額	△ 414	0	△ 414
一般正味財産期首残高	2,057	2,057	0
一般正味財産期末残高	1,643	2,057	△ 414
II 指定正味財産増減の部			0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0
III 正味財産期末残高	4,643	5,057	△ 414

II 収支予算内訳書（正味財産増減計算書ベース）

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

（単位：千円）

科目	公益目的 事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,092		1,092
賛助会員受取会費	1,092		1,092
事業収益	450		450
事業収益	450		450
受取補助金等	28,354	7,096	35,450
受取地方公共団体負担金	27,814	7,096	34,910
受取地方公共団体補助金	540		540
受取寄付金	0		0
受取寄付金	0		0
雑収益	3		3
受取利息	3		3
経常収益計	29,899	7,096	36,995
(2) 経常費用			
事業費	30,313		30,313
役員等報酬	1,272		1,272
給料手当	18,826		18,826
退職給付費用	425		425
福利厚生費	3,347		3,347
旅費交通費	153		153
通信運搬費	615		615
消耗品費	962		962
印刷製本費	1,184		1,184
光熱水料費	315		315
使用料・賃借料	1,257		1,257
保険料	91		91
手数料	77		77
報償費	940		940
負担金・補助金	110		110
委託料	739		739
管理費		7,096	7,096
役員等報酬		2,229	2,229
給料手当		1,580	1,580
福利厚生費		461	461
会議費		15	15
旅費交通費		67	67
通信運搬費		316	316
消耗什器備品費		0	0
消耗品費		277	277
修繕費		20	20
印刷製本費		630	630
光熱水料費		35	35
使用料・賃借料		1,249	1,249
租税公課		71	71
手数料		116	116
負担金・補助金		30	30
経常費用計	30,313	7,096	37,409
評価損益等調整前当期経常増減額			
評価損益等計			
当期経常増減額	△ 414	0	△ 414
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 414	0	△ 414

一般正味財産期首残高	635	1,422	2,057
一般正味財産期末残高	221	1,422	1,643
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	3,000
III 正味財産期末残高	221	4,422	4,643

資金調達及び設備投資の見込みについて
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

平成28年度中に借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

平成28年度中に設備投資の予定はありません。

以上